

2024年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社DDグループ
 代表者名 代表取締役社長 松村 厚久
 (コード番号：3073 東証プライム)
 問合せ先 専務取締役 グループ経営管理本部長 斉藤 征晃
 電話番号 03-6858-6080 (代表)

2025年2月期通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、2024年4月12日に公表した2025年2月期通期連結累計期間（2024年3月1日から2025年2月28日まで）の通期業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年2月期通期の業績予想値の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） 2024年4月12日公表 | 百万円 38,470 | 百万円 3,500 | 百万円 3,370 | 百万円 2,480 | 円 銭 125.94 |
| 今回修正予想（B） | 38,780 | 3,760 | 3,690 | 2,640 | 134.72 |
| 増減額（B－A） | 310 | 260 | 320 | 160 | |
| 増減率（％） | 0.8 | 7.4 | 9.5 | 6.5 | |
| （ご参考）前期通期実績 （2024年2月期通期） | 37,079 | 3,243 | 3,131 | 3,415 | 177.59 |

2. 業績予想修正の理由

当社グループは、前期業績を踏まえ2026年2月期を最終年度として2023年4月に公表しておりました「新連結中期計画（2024年2月期～2026年2月期）」の係数目標を、「連結売上高400億円」「連結営業利益40億円」「ROE20%以上」へ2024年4月に補正いたしました。

2025年2月期中間連結会計期間においては、社会・経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな持ち直しが見られました。このような状況の中、飲食・アミューズメント事業においては、当初計画を客数が大きく上回るなど、売上高は既存店前年同期比108.0%（計画比：4.5ポイント増）となり堅調に推移いたしました。利益面においては、共同購買等のグループ施策及び客単価のコントロールを実施したことで原価率の上昇を抑制し、DX化の推進等により人件費等諸経費を圧縮するなど販管費の抑制を推進してまいりました。

これらの結果、同中間期決算が売上高、営業利益、経常利益において、連結業績予想を上回ることとなりました。

一方で、親会社に帰属する中間純利益は、当初計画を上回る業績で推移したことから、中間連結会計期間に想定していた繰越欠損金を鑑みた法人税等を上回る結果となり621百万円計上したことから、当初の予想を下回る結果となりました。

これら中間連結会計期間の業績を踏まえ、2025年2月期通期連結業績予想につきまして、売上高及び営業利益以下の全ての段階利益（営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益）が、2024年4月12日に公表した業績予想を上回る見込みとなりましたので、業績予想を上方修正いたします。

なお、社会経済活動の正常化により都心部を中心に急激に人流が回復し依然として堅調な業績推移となっているものの、2025年2月期（下期）以降の台風や酷暑等の天候不順に加え、資源価格の高騰と円安による食材価格やエネルギー価格の上昇といった外部環境の悪化の影響を鑑み本修正予想につきましては、2024年4月12日に公表した業績予想に対し、当中間連結会計期間までの実績のみを反映し、2025年2月期（下期）の計画は据え置きとしております。

※上記予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因により本資料記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上